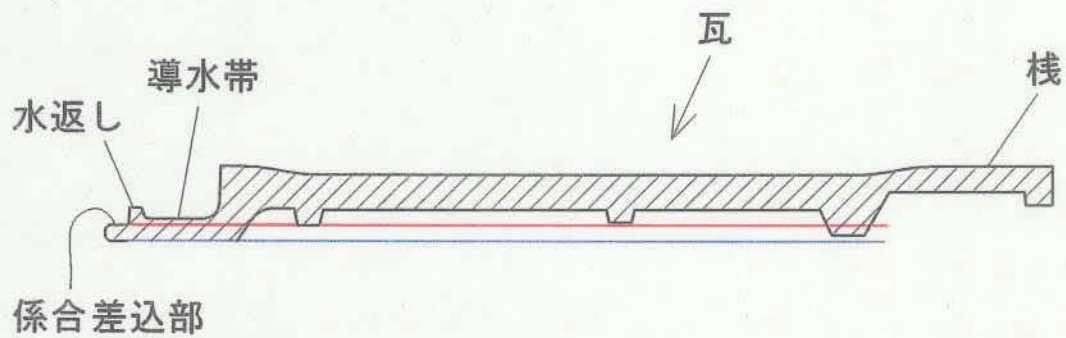
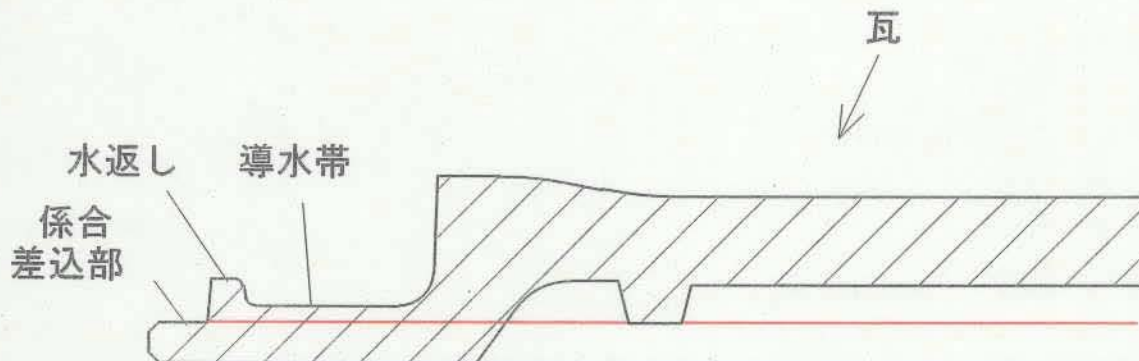


口号 (タイプⅡ)

【A-A断面図】



【上記のA-A断面図の部分拡大図】

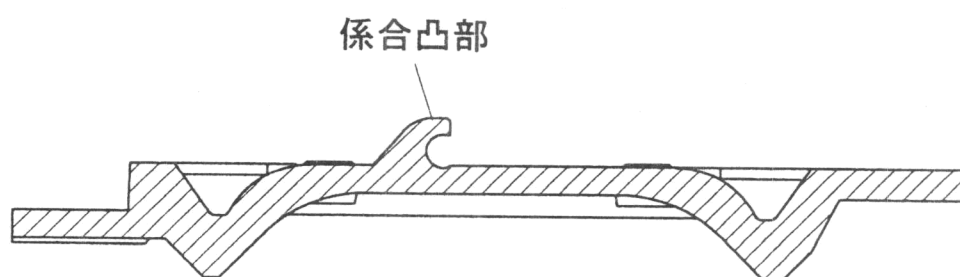


—— 係合差込部の表面のレベルを示す補助線

—— 係合差込部の裏面のレベルを示す補助線

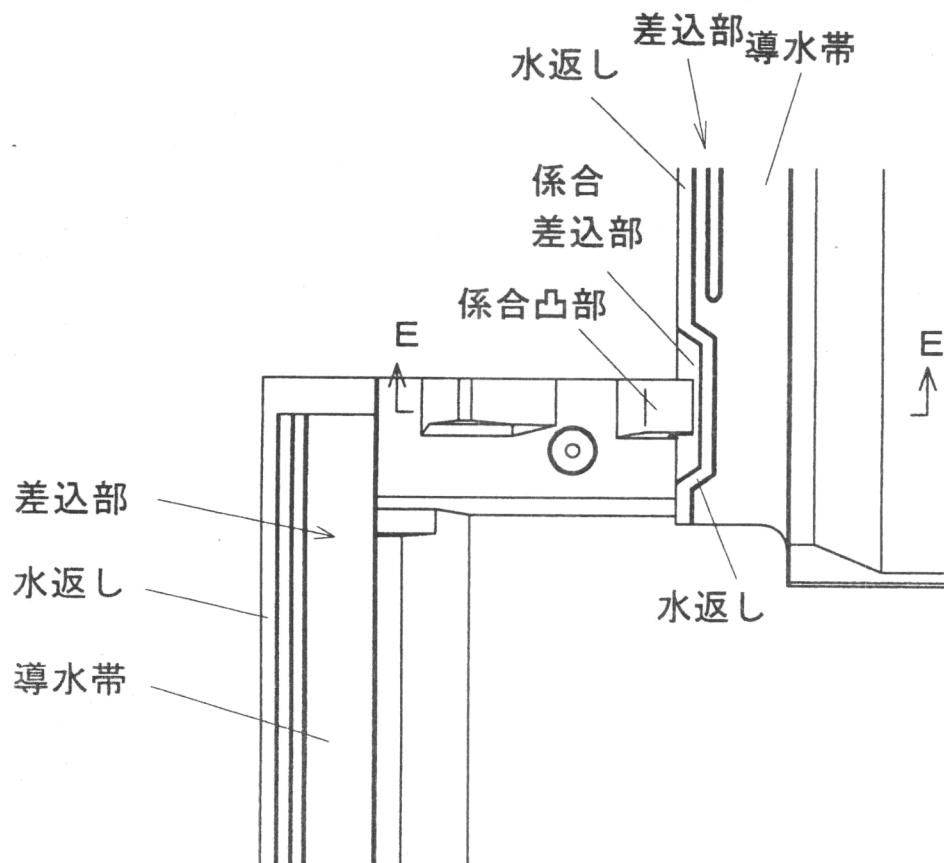
口号 (タイプⅡ)

【B-B断面図】

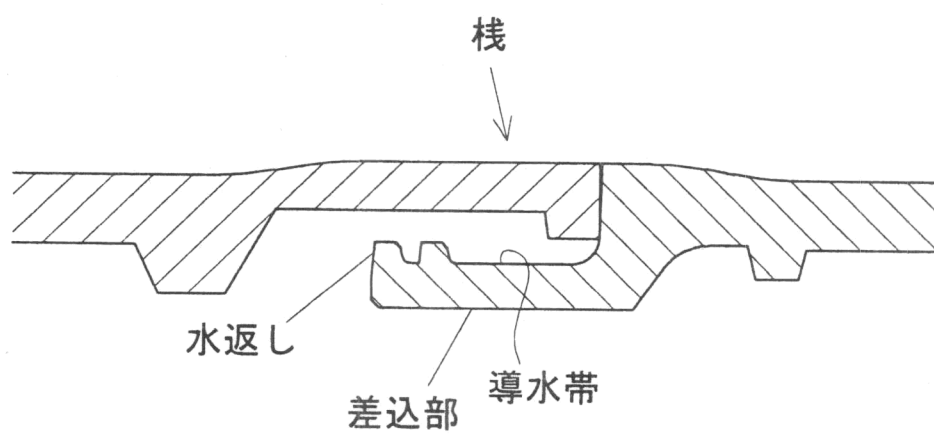


口号 (タイプⅡ)

【C部拡大図】

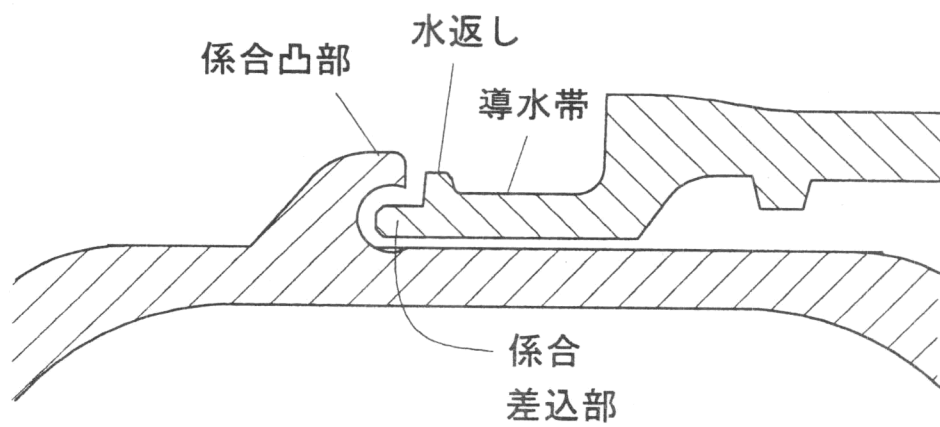


ロ号 (タイプⅡ)
【D-D拡大断面図】



口号 (タイプⅡ)

【E-E拡大断面図】



ハ号物件目録（被告提出）

1. ハ号物件の商品名

スーパートライ 1 1 0 タイプⅢ

2. ハ号物件の図面

別紙の【平面図】、【正面図】、【背面図】、【左側面図】、【右側面図】、【斜視図】、【使用状態図】、【A－A断面図】、【上記のA－A断面図の部分拡大図】、【B－B断面図】、【C部拡大図】、【D－D拡大断面図】、【E－E拡大断面図】のとおりである。

3. ハ号物件の構成

（1）棧と差込部との同段葺き合わせ部分がほぼ瓦 1 枚の厚さに納まる葺き合わせ構造をとる厚平形系瓦である。

（2）差込部の頭部側端を残してそれより尻側に位置する途中部に 3 方の水返しにより導水帯と分離され、かつ瓦裏面とは異なるレベルの表面（上面）を有し、従って一側方と上方の 2 方にのみ開口した係合差込部を形成している。

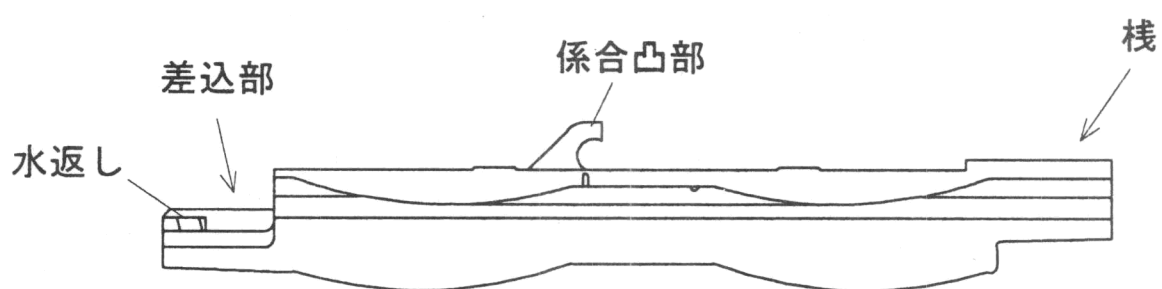
（3）尻部側の中央付近には尻切欠部が無く、該中央付近に瓦表面より高い裏面部分を有する係合凸部を形成してなる瓦である。

（4）葺き合わせたとき斜め下段側瓦の係合凸部が、斜め上段側瓦の係合差込部に、前記一側方からの差し込みによってのみ係合し、前方からの差し込みによっては係合し得ず、係合凸部の裏面部分が係合差込部の上面に当接して上方向の浮きを抑止し、前記係合時の一側方とは反対の他側方へのずれ（振れ）を止め、かつ、係合凸部の前後 2 つの端面が前記 3 方のうちの前後 2 方の水返しに当接して前後両方向のずれ（振れ）を止める。

（5）係止耐風厚平形瓦である。

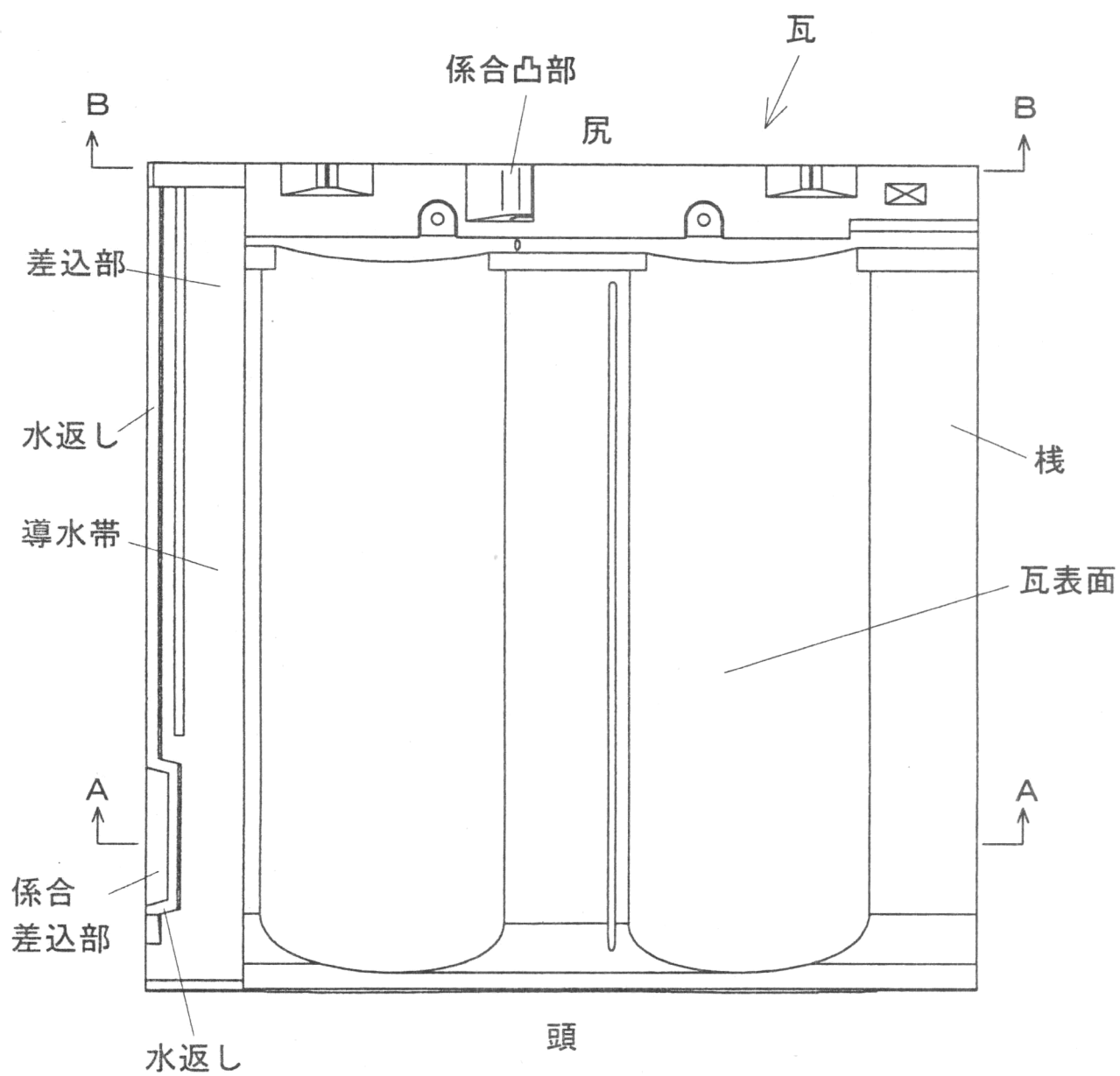
ハ号 (タイプⅢ)

【平面図】



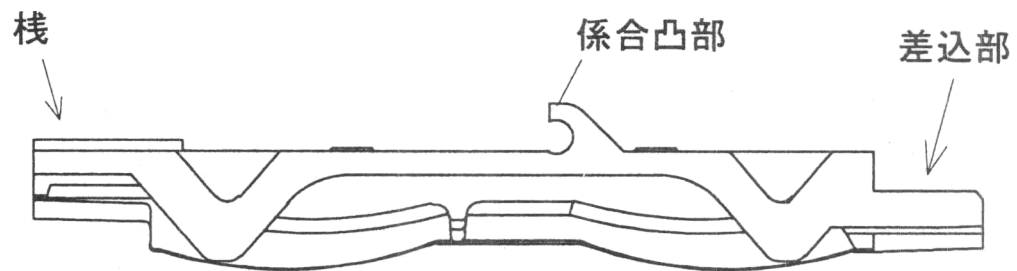
ハ号 (タイプⅢ)

【正面図】



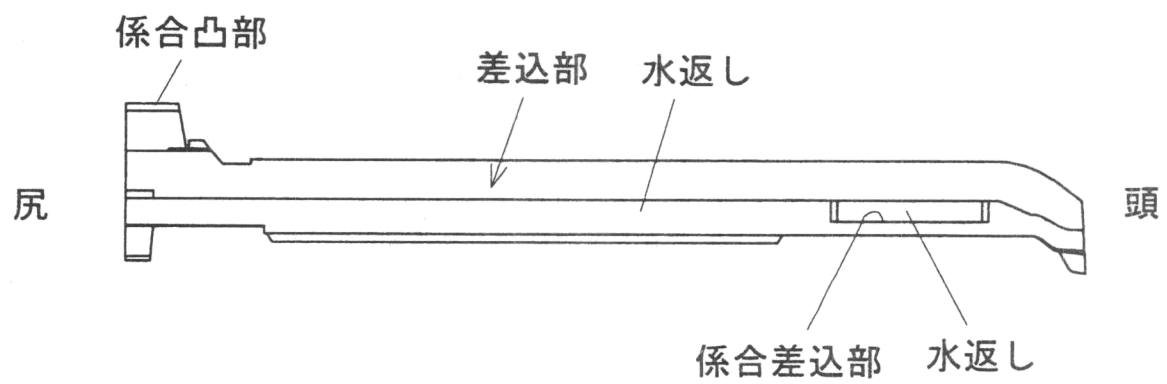
ハ号 (タイプⅢ)

【背面図】



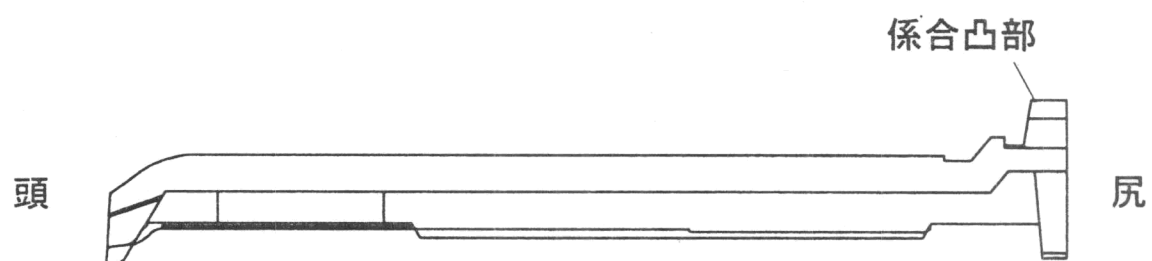
ハ号 (タイプⅢ)

【左側面図】



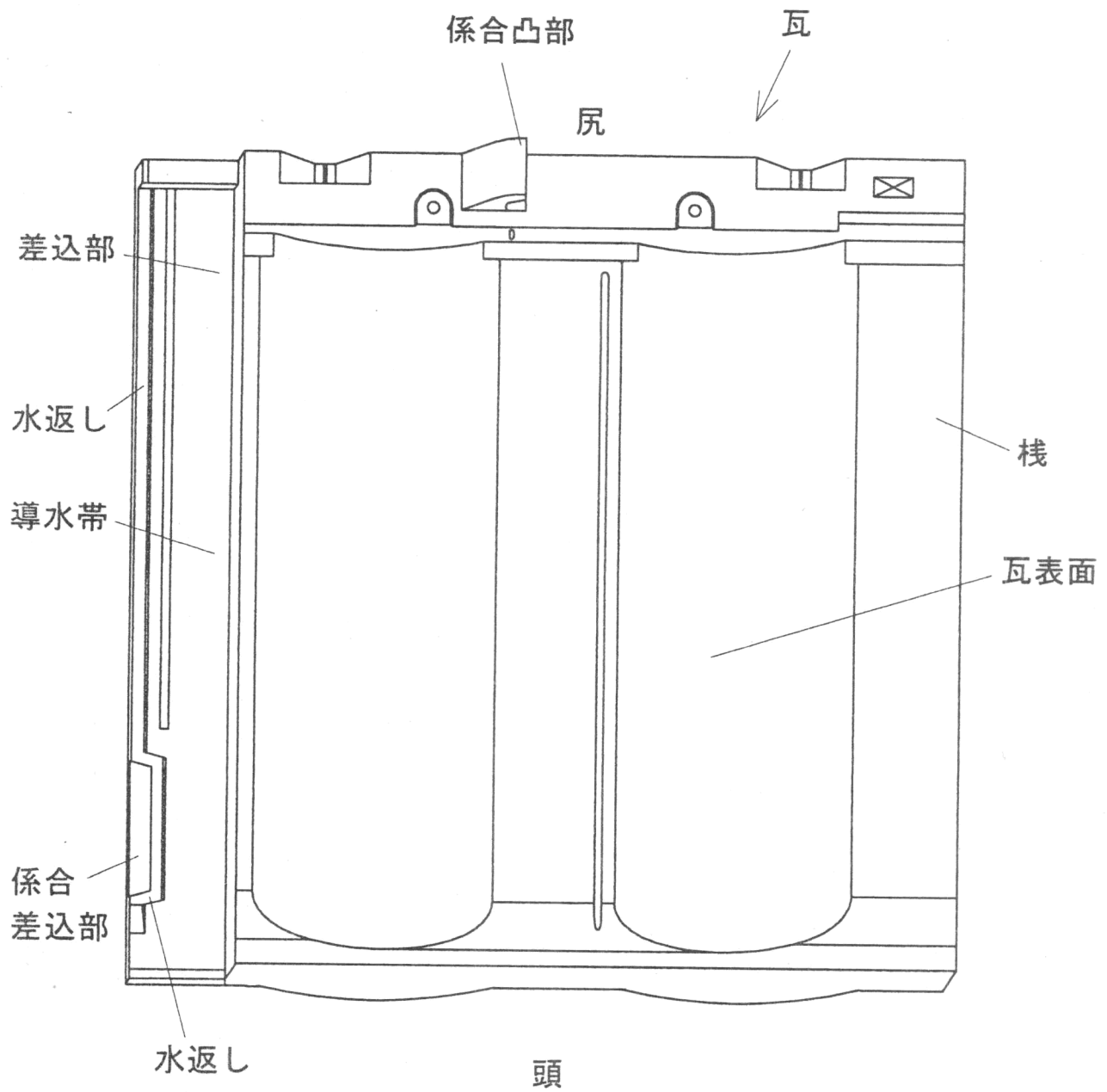
ハ号 (タイプⅢ)

【右側面図】

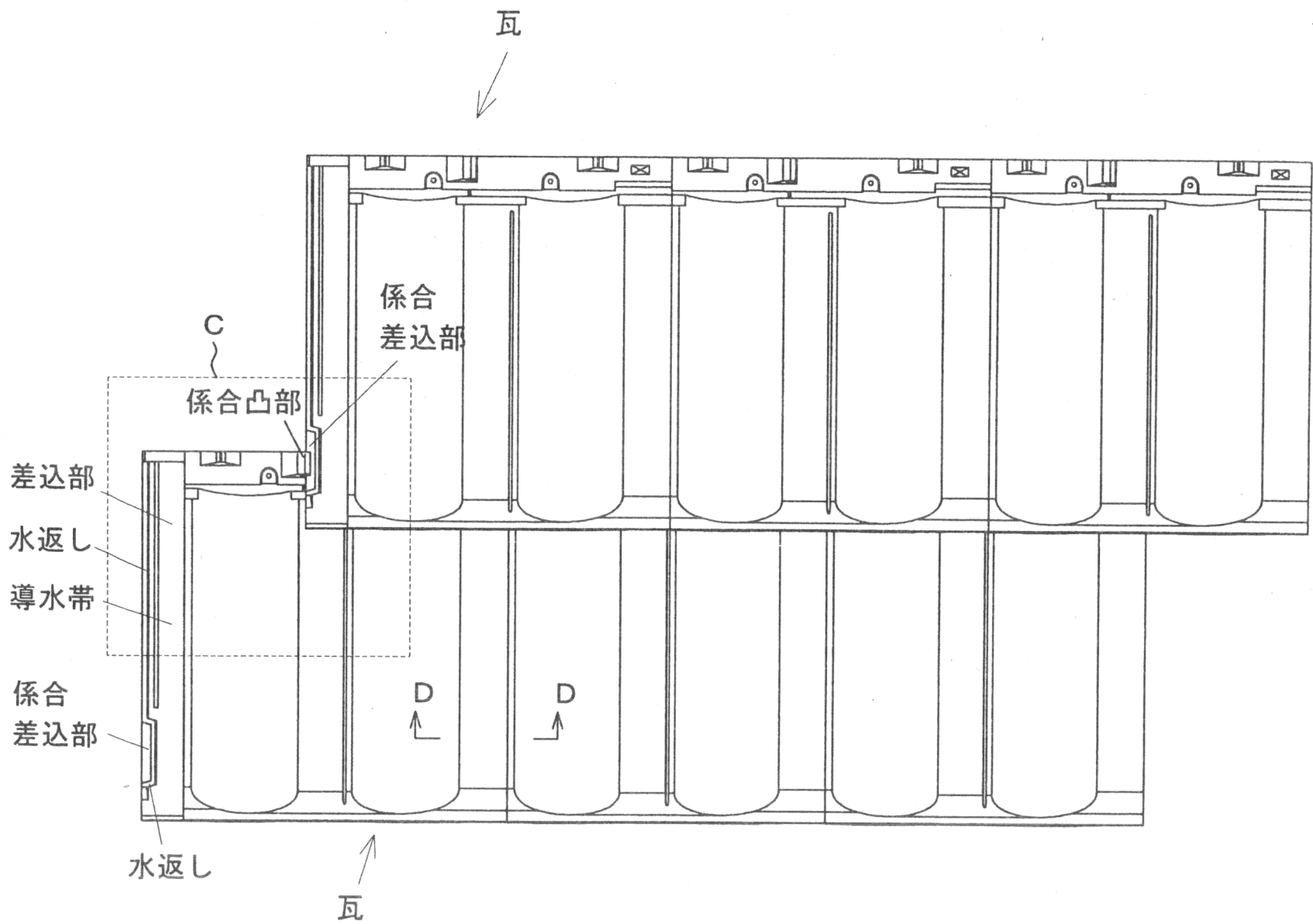


ハ号 (タイプⅢ)

【斜視図】

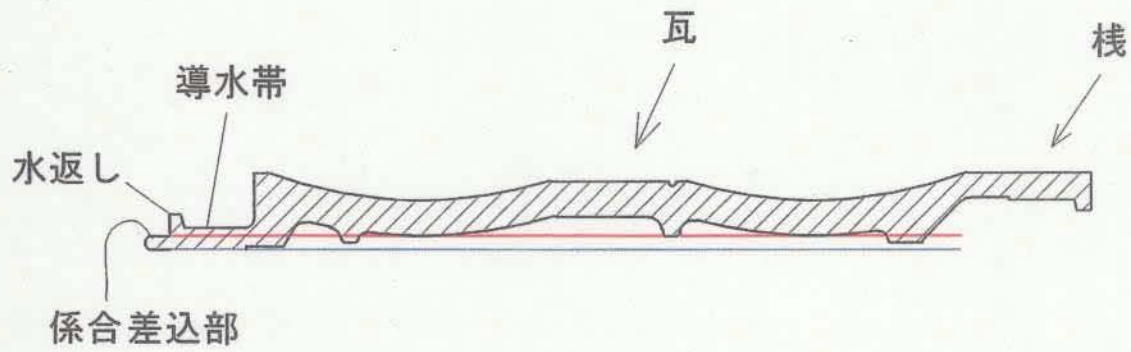


【使用状態図】

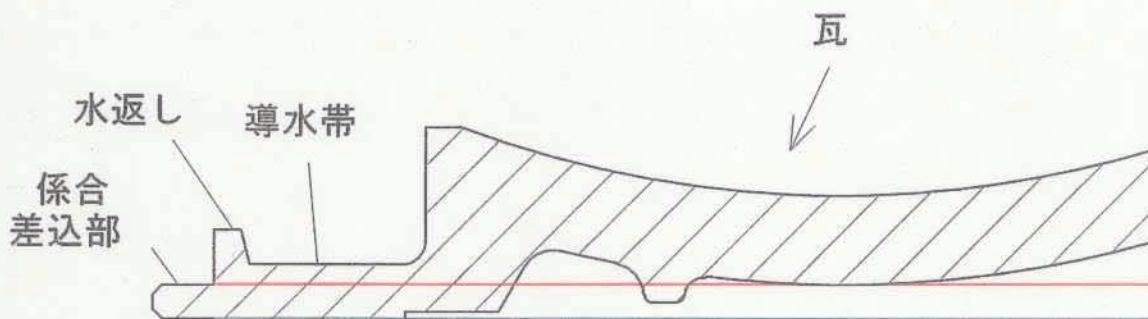


ハ号 (タイプⅢ)

【A-A断面図】



【上記A-A断面図の部分拡大図】

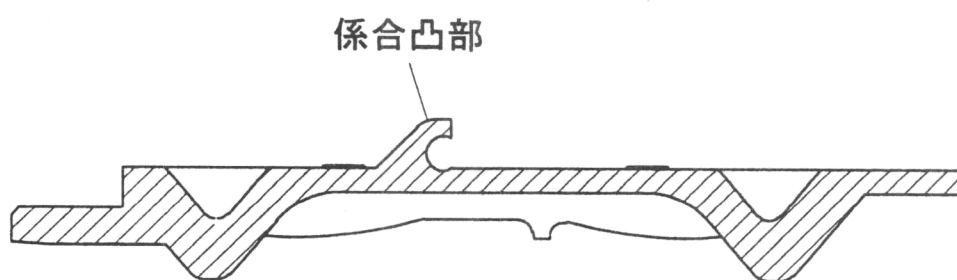


—— 係合差込部の表面のレベルを示す補助線

—— 係合差込部の裏面のレベルを示す補助線

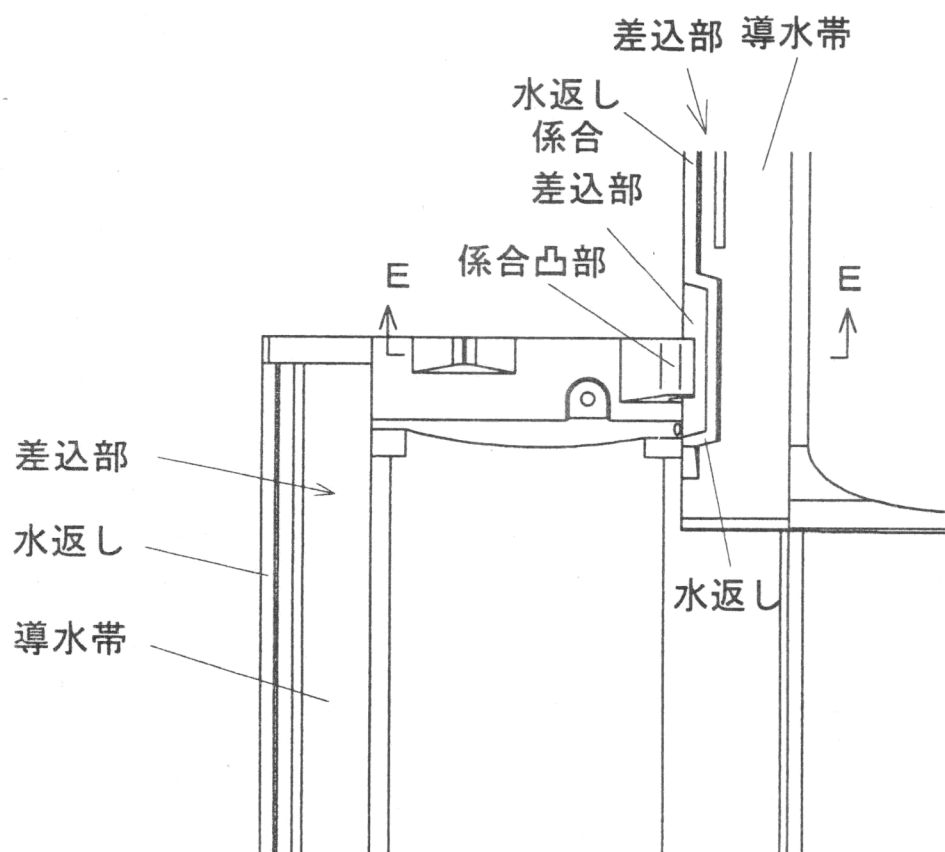
ハ号 (タイプⅢ)

【B-B断面図】

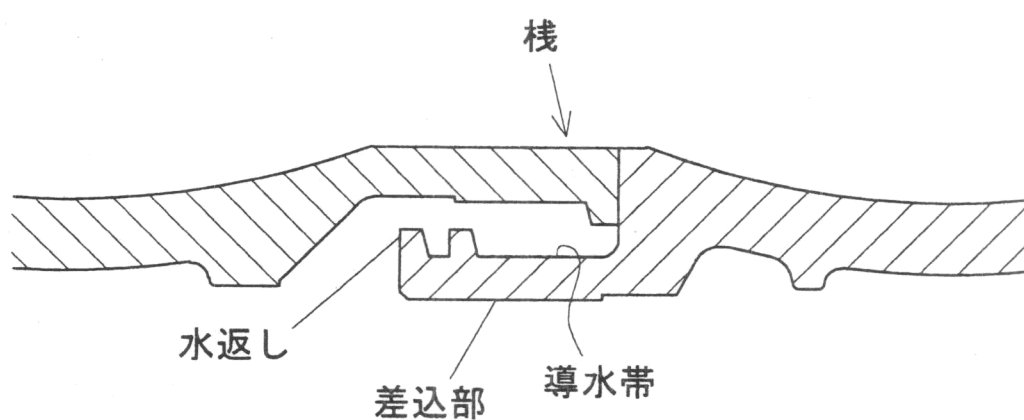


ハ号 (タイプⅢ)

【C部拡大図】

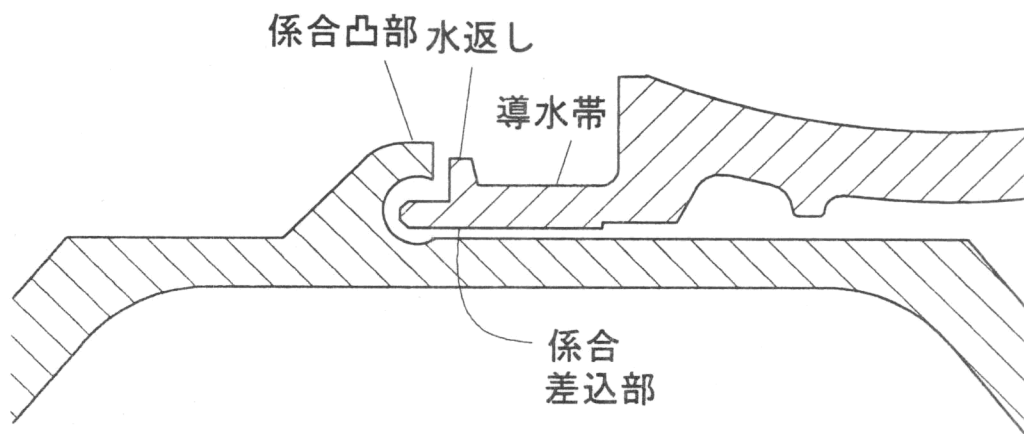


ハ号 (タイプⅢ)
【D-D拡大断面図】



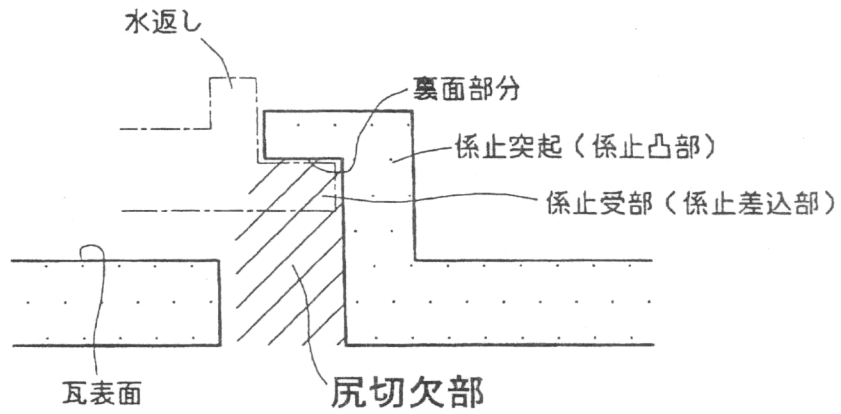
ハ号 (タイプⅢ)

【E-E拡大断面図】

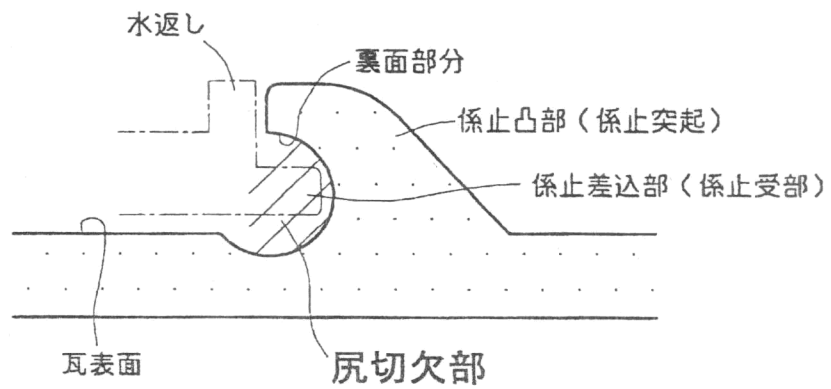


別紙「尻切欠部概略図」(原告)

本件発明



被告物件



別紙「尻切欠部概略図」(被告)

